

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について（K S 2 7）

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で18回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

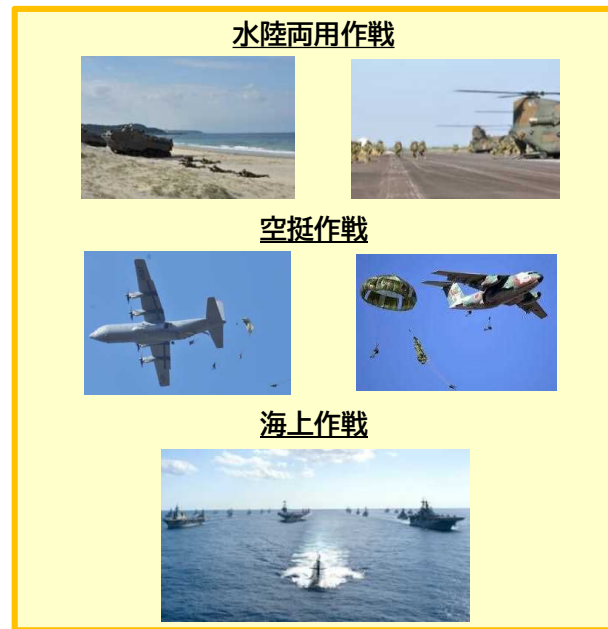
【演習の実施期間】

令和8年10月19日（月）から10月29日（木）までの間（本実施期間の前後 約1週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができます。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について



- その他関連する訓練（日本全国各地）**
- 情報戦
 - 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
 - 陸上作戦
 - サイバー攻撃等対処
 - 宇宙作戦
 - 統合電磁波作戦
 - 統合通信
 - 重要施設等防護（基地警備等）



令和8年度日米共同統合演習（実動演習）の 佐賀県内における訓練について

本演習において佐賀県内で実施する訓練は、

- ① 統合防空ミサイル防衛（高射部隊等の機動展開訓練）
- ② 水陸両用作戦（戦力の空中投射及び航空機準備）
- ③ 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）
- ④ 重要施設等防護（共同／協同基地等警備訓練）
- ⑤ 陸上作戦（対艦戦闘訓練）

を予定しています。訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

佐賀県内で実施を検討している訓練内容

① 統合防空ミサイル防衛（高射部隊等の機動展開訓練）

航空自衛隊の高射部隊等が、総合防空ミサイル防衛に係る航空自衛隊の任務遂行能力の向上のため、背振山分屯基地において機動展開訓練を実施します。なお、実弾の使用はありません。

【期 間】令和8年10月19日（月）～10月29日（木）（前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定）
 【参加部隊】航空自衛隊：北部航空方面隊 第2航空団（人員約30名、車両約15台）

訓練予定場所



※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

佐賀県内で実施を検討している訓練内容

② 水陸両用作戦（戦力の空中投射及び航空機準備）

目達原駐屯地において、九州の自衛隊施設及び九州周辺空域にて実施する各種訓練に用いる航空機の基盤として、人員輸送、駐機、燃料補給、整備等を実施する計画です。

【期 間】 令和8年10月19日（月）～10月29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】 陸上自衛隊：約100名
西部方面航空隊回転翼機（AH-64D×2機）
輸送航空隊（CH-47×4機）

※昼間及び夜間に飛行する可能性があります。
※人数・機数は現時点で計画されているものです。

訓練予定場所



目達原駐屯地
(ヘリ離着陸)

種子島

訓練イメージ



航空機への燃料補給・整備

佐賀県内で実施を検討している訓練内容

③ 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）

目達原駐屯地においては、陸上自衛隊航空機の駐機、燃料補給、整備等を実施します。

【期 間】令和8年10月19日（月）～29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊：約60名（西部方面航空隊、北部方面隊、輸送航空隊、航空学校、
AH-64×約2機程度、UH-60×約4機程度、CH-47×約13機程度、UH-2×約3機程度、
OH-1×約1機程度、AH-1S×4機程度等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



矢印は航空機の飛行経路を示したものではありません。

訓練イメージ



駐機・燃料補給・整備等

佐賀県内で実施を検討している訓練内容

④ 重要施設等防護（共同／協同基地等警備訓練）

航空自衛隊背振山分屯基地においては、陸上自衛隊及び航空自衛隊の部隊による協同基地警備訓練を実施する予定です。

【期 間】 令和8年10月19日（月）～29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定
※ 26日（土）、27日（日）を除く上記期間は、空包の使用を伴う夜間訓練を実施予定

【参加部隊】 陸上自衛隊：約150名（第2特科団）
航空自衛隊：約100名（西部航空方面隊）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



佐賀県内で実施を検討している訓練内容

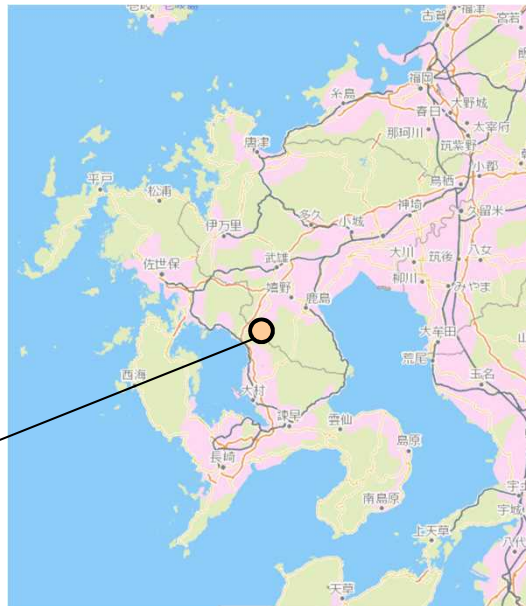
⑤ 陸上作戦（対艦戦闘訓練）

大野原演習場において、陸上自衛隊の部隊が非実射の対艦戦闘訓練を実施する計画です。

【期 間】令和8年10月19日（月）～29日（木）※ 前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定
※ 夜間訓練を予定しています。

【参加部隊】陸上自衛隊：約120名（第2特科団、第4師団、25式地对艦誘導弾等）

訓練予定場所



訓練イメージ



対艦戦闘訓練（25式地对艦誘導弾）